



MICE はチームビルディング

(株)チームビルディングジャパン 代表取締役 河村 甚

こんにちは、チームビルディングジャパンの河村甚です。MICEは人が集まる場です。そしてお金をかけて人を集めて開催するわけですからそこには明確な目的があります。そしてその目的を達成するために人が集まる事によって得られるチームビルディングの効果があります。特にミーティングやインセンティブはチームビルディングの目的を明確に掲げるケースが多くあります。

なぜわざわざ集まるのか？

MICE 関連ビジネスはそのプランニングにしても会場等のサプライヤーのビジネスにしても人が集まる事によって生まれるビジネスですから、人が集まらなると始まりません。ところが、MICEの中身、コンテンツだけを見るとわざわざ集まらなくても用が足りてしまいそうなものがほとんどです。たとえばインセンティブにしても報奨金だけ渡してしまう、展示会等でもオンラインでの情報提供で済ませる、会議等はテレカンファレンスなどで物理的に集まらずに済んでしまうことも少なくありません。

物理的に集まらなくとも済んでしまうかもしれないことをわざわざ集まってやるのがMICEです。

MICEのビジネスをされている皆様は「いやいや、そんなただ報奨金を渡したり、オンラインで済ませられる事じゃないよ」と思われる事でしょう。まさにその通りです。人が集まるからこそ生まれる価値のためにMICEは実施されています。「わざわざ集まってやるとどんな効果が生まれるのか？」と聞かれればたくさんの理由を挙げる事が出来るでしょう。その答えがMICEが生き

出している価値です。そしてそれはチームビルディングと非常に強い関連があります。

人が集まる事によって生まれる価値を少し挙げると、

- ・直接顔を合わせて伝えるからこそ伝わるメッセージがある。
- ・表彰式に集まるからこそ拍手喝采を浴びる感動がある。
- ・同じ体験を共有した人たちだけに生まれる仲間意識が得られる。
- ・そこに集まった人たちが共有した情報とその集団のスタンダードとなる。

- ・その集団への帰属意識が高まる。
- ・展示会に来てもらって実物を見てもらうからこそ、カタログでは伝わらないものが伝わる。

上記の他にもたくさんの理由を思いつかれる事と思います。

これらのMICEによって生まれる価値の多くは「認識の共有」と「意識(思い)の共有」です。認識共有や意識共有の効果があるからこそ集まるわけです。オフサイトで行うキックオフミーティングに全社員を集めて社長の方針発表をするのは、社内報で流しても伝わらない思いを込めたメッセージを伝えたいからです。表彰式でトップセールスの方に登壇していただいて色々な演出を駆使して讃えるのは、その方の成し遂げた成果を多くの人の前で讃えて表す効果だけでなく、表彰式に参加された方達が「自分も頑張って次回はあそこに立ちたい!」という強い思いを持ってもらうためでもあります。

これこそがMICEによって生まれるチームビルディング効果であり、またMICEにチームビルディングを取り入れる目的でもあります。

認識共有と意識共有について簡単に説明すると以下のような事です。

認識共有 = 事実をどう捉えるかを共有する。

意識共有 = 思いを共有する。

MICEの中の チームビルディング

人が集まる事によって生まれるチームビルディングの効果を更に高めるために、MICEの中にチームビルディングプログラムを取り入れます。日本でも多く行われているのがオフサイトミーティングにチームビルディングを取り入れるケース。また、日本では少ないですが、海外では一般的なインセンティブ旅行にチームビルディングを取り入れるケースがあります。



MICEの中の チームビルディング

オフサイトミーティングと一言でいってもその内容も様々です。もちろんチームビルディングそのものを目的とし、そのためだけに行われるオフサイトミーティングもあります。ここではオフサイトの中でも特によくご依頼いただく年度ごとのキックオフミーティングでのチームビルディングをご紹介します。キックオフでは新たな年度をスタートするにあたって、前年度のレビューがあり、新年度の方針を伝え、また各部署ごとに方針やアクションプラン

作成などが行われます。その内容やゴールは各会社によって様々です。

そのなかで取り入れられるチームビルディングのプログラムは、主に体を動かすアクティビティを使って次のような目的で取り入れられています。

- ・全社の一体感を感じてほしい。
- ・方針発表の意味を言葉だけでなく、自らの体験を通じて理解してほしい。
- ・各部署ごとで行う話し合いが効果的に行われるように、活発な意見交換が行われる環境を作してほしい。

全社の一体感を感じるために何か全員で一つの事をやりたいという時にお勧めしているのが「ドラムサークル」です。簡単に言ってしまうと全員で太鼓や打楽器を鳴らして音楽を奏でるプログラムですが、役割分担やコミュニケーションなど、仕事の場に繋がるメタファーも多く、何よりもドラムの響きとそれをたたくアクションから感じる一体感が素晴らしいです。



方針発表を体験から理解するためにもチームビルディングのアクティビティを用います。チームで挑戦す

る色々なアクティビティには仕事で立ち向かう色々な課題に関連付けられる要素が多く含まれます。たとえば、「挑戦」ということもそうです。方針発表で「自分たちの会社が一歩先へ出るための挑戦を続けていこう」と言う話しがあった後に、疑似体験のアクティビティで「挑戦」を体感し、その意味について対話しながら理解し、どのように仕事の場での挑戦を実践して行くのかにつなげて行きます。



インセンティブでの チームビルディング

日本でインセンティブイベントというと「表彰式」と「パーティ」ですが、海外のインセンティブイベントではそれに「チームビルディング」が加わります。インセンティブで行われているチームビルディングはレクリエーションイベントとしての要素が強く、あまりお勉強臭くしません。よく行われているのは例えばビーチリゾートでのビーチオリンピック。ビーチでチーム対抗のゲームに挑

戦します。また、デスティネーションの土地柄を活かし、観光もかねたスカベンジャーハントというプログラムも一般的です。スカベンジャーハントは、チームに分かれてエリア内を巡りながら指定されたものを探しに行く宝探し風のプログラムです。

MICE とチームビルディング

チームビルディングの要素である認識共有と意識共有がMICEの生み出す重要な価値であり、その価値を高めて行くために色々なチームビルディングのプログラムが取り入れられています。

POINT

- 人が集まる MICE にはわざわざ集まる理由がある。
- 人が集まる意義の最も重要なポイントは2つ「認識共有」と「意識共有」。

■河村甚プロフィール■

(株)チームビルディングジャパン
代表取締役

海外リーダーシッププログラムでの仕事と、インセンティブイベント制作の仕事を経て、2006年にチームビルディングジャパンを設立。「体験」と「対話」で、組織を変えるチームビルディングを専門に扱う。

チームビルディングジャパン Web サイト
<http://www.teambuildingjapan.com/>

心が動くからチームが動く



Team Building Japan

体験型！経営者様・人材育成ご担当者様向け
無料体験セミナー

■開催日時

2010年9月1日(水) 13:30~16:30

■定員

20名

■対象

経営者様、人材育成ご担当者様

■お申し込み

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.teambuildingjapan.com/seminar/experi10.html>

お問合せ先 株式会社チームビルディングジャパン 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-15五反田壱番館903

■電話番号: 03-6431-9237

■URL: <http://www.teambuildingjapan.com/>

■E-Mail: tbj@teambuildingjapan.com